

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	情報リテラシー	科 目 名	ビジネスアプリケーションⅡ	科目コード	T0020C1
配 当 期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単 位 数	1 単位
担当教員名	琴川	履修グループ	1A(KS/SI)	授業方法	演習
実務経験の内容	<p>セラミックス系企業にて研究職に従事し、主にセラミックス小径ビーズの開発に携わった。また、同期間に大阪の公的研究所でセラミックスの射出成型に関する研究も行っていた。</p> <p>高校にてコンピュータ実習室の管理に5年ほど携わり、Active Directory の構築、コンピュータ実習室の設計、運営管理などを行っていた。その経験の中で学内データベースについても管理を行っていた。</p> <p>同実務で得たデータベーススキルをベースに、本授業では学生がビックデータ時代に求められるデータの基本的な取り扱い方について学べるように取り組む。</p>				
学習一般目標	Access (データベース) はビジネス社会で広く使われており、情報化社会に生きるビジネスマンにとって必須のツールとなっている。本授業では、実習を中心に授業を行い、Access の機能を正しく理解し、本来の目的に沿って操作を習得するのが狙いである。				
授業の概要および学習上の助言	ビジネスシーンで重要なソースとなるデータベースについてしっかりと理解したうえで自由自在にデータを検索、クエリを使って SQL の仕組みできるようになる。また、新規テーブルを作成し、リレーションシップの設定ができる。フォームやレポートを活用するための基礎能力を得る事ができる。この授業を機会に MOS の ACCESS 試験にも挑戦して欲しい。				
教科書および参考書	教科書 : Microsoft Access 2016 基礎 (FOM 出版) 他、適宜プリントなどを利用する。				
履修に必要な予備知識や技能	前期のビジネスアプリケーションⅠの基礎知識を習得していることが望ましい。リレーショナル型データベース (RDB) や SQL の基礎知識があればなお良い。				
使用機器	PC 実習室				
使用ソフト	Access 2016				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1	Access の基礎知識を修得し、Access の特徴を説明することができる。			
	4	Access の基本操作 (テーブル、フォーム、クエリ、レポートの作成) を行うことができる。			
	4	リレーションシップを設定することによって、リレーショナル型データベース (RDB) の機能について理解することができる。			
	4	クエリを作成することによって、SQL の文法を理解することができる。			
	5	ビジネスアプリケーションⅡの実習に意欲をもって取り組むことができる。			

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	※シラバスの説明 第1章 Access の基礎知識 第2章データベースの設計と作成	講義・実習	
第2回	第3章テーブルによるデータの格納① STEP 1～STEP3	講義・実習	
第3回	第3章テーブルによるデータの格納② STEP4～STEP5 <演習> 総合問題1：1.テーブルの作成	講義・実習	
第4回	第5章クエリによるデータの加工 <演習問題>Let's Try	講義・実習	
第5回	第7章クエリによるデータの抽出と集計	講義・実習	
第6回	<演習> 総合問題1：2.クエリの作成(講義・実習	
第7回	第6章フォームによるデータの入力① STEP1～STEP4	講義・実習	
第8回	第6章フォームによるデータの入力② STEP5～STEP6 <演習> 総合問題1：3.フォームの作成	講義・実習	
第9回	第8章レポートによるデータの印刷① STEP1～STEP3	講義・実習	
第10回	第8章レポートによるデータの印刷② STEP4～STEP7 <演習> 総合問題1：4.レポートの作成	講義・実習	
第11回	第9章便利な機能	講義・実習	
第12回	※Access 応用(アクションクエリー) ※プリント参照 (アクションクエリー)	講義・実習	
第13回	<演習> 総合問題2	実習	
第14回	<演習> 総合問題2継続	実習	